

組織体制の変更に関するお知らせ

～ソリューション提供を加速するため、 R&D 組織を中心に組織体制を変更～

株式会社日本触媒（本社：大阪市中央区、社長：五嶋祐治朗、以下「日本触媒」）は、2021年4月1日付で、組織体制の変更を行います。

当社は、持続可能な社会の創造への貢献を目指し、競争力のあるマテリアルズのバリューチェーンを生かし、顧客と社会の課題に応えるソリューション提供に取り組んでいます。この取り組みを加速させるため、R&D 組織を中心に組織体制を変更いたします。

主な組織変更の概要

（1）R&D 組織の変更

当社は、現中期経営計画「新生日本触媒 2020 NEXT」において、既存事業の深化を図る事業部研究部と成長分野への展開を目指す事業創出本部を設置しマーケット志向をより一層意識するとともに、デジタルトランスフォーメーションや循環型社会への変化もとらえながら、イノベーション創出に向けた R&D 組織を整備してまいりました。今般、重要課題「新規事業・新規製品の創出加速」に一段とアクセルを踏み込み、他社にない独自の機能提供で世界中の顧客の課題解決を目指す「ソリューションビジネス」への展開をさらに強化するため、R&D 組織を以下の通り変更します。

・市場開拓機能を強化

事業創出を目指した市場開拓機能の強化のために、「企画推進部」を「事業開拓部」に改称し、新規事業ターゲット分野の開発・マーケティング活動への一層の注力による短期事業化推進、中長期をにらんだ市場開発力・ソリューション展開の強化策を構築していきます。また、特定テーマについての早期事業化を目的とした「事業化推進プロジェクト」を設置します。

・R&D 組織横断機能の強化

事業部と事業創出本部にまたがる R&D 組織全体を俯瞰し、短期から中長期を見据えたイノベーション戦略と推進方策を立案する経営直轄の部署として「R&D 統括部」を設置します。環境の変化を見据えながらスタートアップとの協業をはじめとするオープンイノベーション、海外 R&D 拠点活用や事業創出人材の育成も推進していきます。

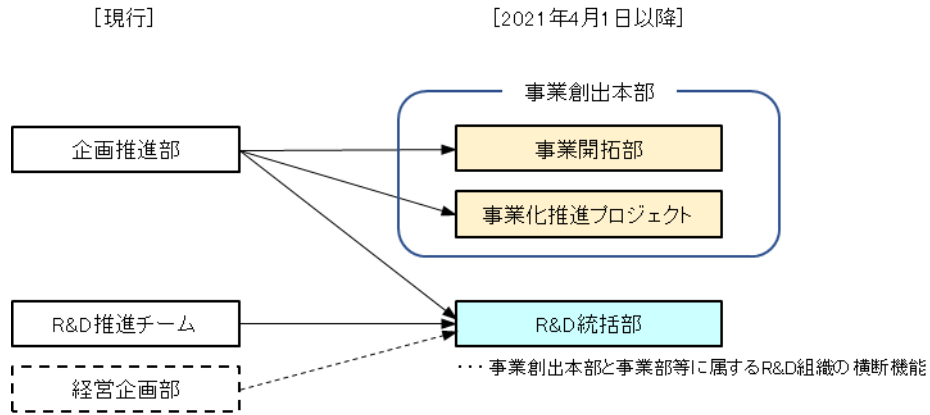


図1 今回の R&D 組織体制の変更点

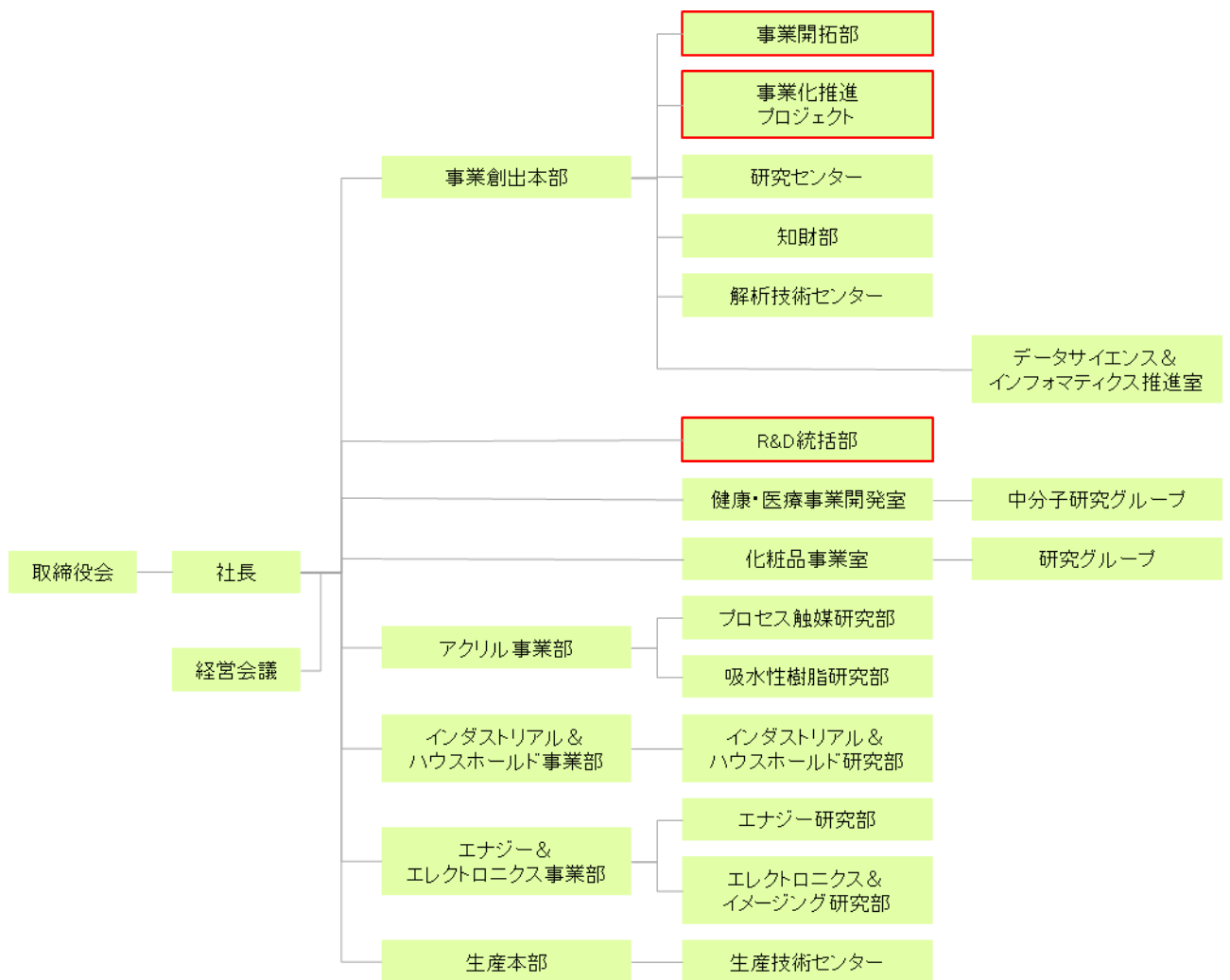


図2 R&D 組織図 [2021年4月1日以降]

(2) 事務部門組織の変更

サステナビリティやダイバーシティの取り組みの推進および業務効率化のため、以下を設置します。

・サステナビリティ推進グループの設置

経営企画部にサステナビリティ推進グループを新設します。サステナビリティの視点の事業戦略への取り込みをより加速し、社外への情報開示の強化も図ります。

・D&I (ダイバーシティ&インクルージョン) 推進グループの設置

人事部に D&I 推進グループを新設します。多様な人材の活躍を推進する風土・制度づくりを加速します。

・法務部の設置

総務部法務グループを廃止し、法務部を新設します。複雑化かつ拡大する法務業務への対応を図ります。

(3) 事業部門組織の変更

吸水性樹脂事業部を廃止、吸水性樹脂営業部および吸水性樹脂研究部をアクリル事業部に編入し、アクリル酸とそれを原料とする吸水性樹脂をアクリルチェーンとして一つの事業部に統合します。これにより、当社アクリルチェーンに関わる営業部間および研究部間の連携を強化、また人材交流もより活発化させ、事業運営体制の強化を図ります。

以上

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 I R・広報部

TEL:03-3506-7605 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-2-2